2018

MINNESOTA EXPLORING

10.3-10. 11
9 DAYS

10 YEAR ANNIVERSARY
2009-2018

海星学院高等学校

Head Coordinators: Tom and Sue Haeg
Senior High Principal of BSM: Dr. Sue Skinner
Principal of Kaisei Gakuin: Toshimitsu Sakai
International Exchange Coordinators:
Hiroshi Yamane, Jack Brodowski
Accompanying Teachers: Jyun Ohsawa, Ryuhei Kikuchi
Facilitating Company in Japan: ISA
Benilde-St.Margaret's School:
2501 Highway, 100 South St.Louis Park, MN 55416
Saint John's Preparatory School:
2280 Watertower Road Collegeville, MN 56321-4000
Kaisei Gakuin High School:
3-7-7 Takasago-cho Muroran, Hokkaido 050-0072

2018 DAY1 WEDNESDAY, OCTOBER 3

今年は朝の8時に学校に集合。生徒がデザインした海星オリジナルのパーカーを着て、羽田空港からミネアポリスへ向かいました。現地コーディネータのトム・ヘイグ氏と奥さんのスーさんの温かい笑顔で、11時間に及ぶフライトの疲れも癒されました。ミネハハの滝でリフレッシュした後、姉妹校BSM校にホストファミリーが迎えに来てくれました。

現地コーディネーターを務めているトム・ヘイグ氏(Tom Haeg)は，聖ベネディクト修道会設立によるSt. John's Universityの出身です。今から約40年前に，本校での英語教員として採用予定で，直前まで手続きが進んだものの，事情により実現せず，その後，1979年に来日，本校で約一ヶ月ではありましたが英語授業を特別に担当した経験をお持ちです。　その後、ミネソタに戻り裁判官として職に就き2009年で勤めを終えられました。2009年に世界的に蔓延した新型インフルエンザの影響で、7月のアメリカ合衆国カリフォルニア州オンタリオへの修学旅行が延期となり、渡航先の再検討をしていた折に、聖ベネディクト女子修道会におられる本校第2代校長シスター・オリビアからトム・ヘイグ氏を紹介していただきました。本校のアメリカ修学旅行の研修地として、ミネソタ州ミネアポリスでのホームステイプログラムとBenilde-St.Margaret's School（BSM校）を拠点とした研修のコーディネートを、定年後のボランティア活動として引き受けてくださいました。2009年11月に新点地ミネアポリスでの修学旅行を実現し、翌2010年にBSM校と姉妹校提携を結ぶ際にも、トム・ヘイグ氏に尽力いただきました。

ﾐｼｼｯﾋﾟｰ川をはさみ両岸に位置しているﾐﾈｿﾀ州ﾐﾈｱﾎﾟﾘｽとｾﾝﾄﾎﾟｰﾙはﾂｲﾝ・ｼﾃｨｰ（双子都市）として人々に親しまれています。歴史の香り高い行政の中心、州都ｾﾝﾄﾎﾟｰﾙに対し、清廉な近代的ﾑｰﾄﾞとｱﾒﾘｶの日常の活気が伝わるﾐﾈｱﾎﾟﾘｽ。それぞれﾕﾆｰｸな特色とｽﾀｲﾙを持っています。この街には世界最大規模のﾐﾈｿﾀ大学をはじめ、多くの大学があり治安の良い大学都市としても有名です。 製材や製粉が主な産業でしたが、現在、ﾊｲﾃｸ製品も主要産業として成長しています。そして四季の彩りに表情を変えるﾐｼｼｯﾋﾟ河と多くの湖に寄りそう豊かな自然に囲まれた街。ﾀﾞｺﾀ･ｲﾝﾃﾞｨｱﾝの言葉で「ﾐﾈ」とは「水」のこと。ﾐｼｼｯﾋﾟ河の源流のあるﾐﾈｿﾀ州の第一の都市は、川面に映える近代的なｽｶｲﾗｲﾝのｼﾙｴｯﾄも美しい「水の都」です。そして、なによりも、温かく穏やかなﾌﾚﾝﾄﾞﾘｰさが世界中から訪れる人々をゆったりと抱擁し、忘れがたい旅の想い出で満たしてくれます 。

日本とミネソタ州の時差早見表（11/1まで夏時間）

日本	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3
ミネソタ州	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	12
夏時間	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

2018 DAY2 THURSDAY, OCTOBER 4

姉妹校BSM校からミネアポリスの観光名所でもある公園「Minneapolis Sculpture Garden 」まで、散歩をしながらミネアポリスの大都会の中にある自然の空気を目一杯楽しみました。

ミネアポリスで一番大きなカトリック教会「The Basilica of Saint Mary」を訪れ、大聖堂の豪華なステンドグラスと荘厳な祭壇の元でカトリックについて学びました。

The Basilica of Saint Maryは、1907年に建てられ、1975年に国の史跡に指定されました。ミサでは90人からなるコーラス隊とゴージャスなオルガンの音色で賛美を合唱します。

ミネアポリスのダウンタウンを散歩し、ミネアポリスに本拠地を置くディスカウント百貨店チェーン「Target」などで買い物を楽しみました。

ミネアポリスでよく知られているものの1つに、ダウンタウンのビルの2階を結ぶスカイウェイと呼ばれる屋内通路網がある。屋内通路そのものは全米のみならず世界各地にあり、特に珍しいものではないが、ミネアポリスのスカイウェイはダウンタウンの80ブロックにわたり、総延長は11kmにおよぶ大規模なものである。スカイウェイは平日のみ通行することができる。スカイウェイによってミネソタの厳しい冬の寒さや雪を気にすることなくダウンタウンのビル間を行き来できるだけでなく、1階の車道を通る車と2階のスカイウェイを通る人との通行路の分離もなされている。

2018 DAY3 FRIDAY, OCTOBER 5

ミネアポリスからバスで北に約1時間離れたところにあるSaint John's University (SJU)／College of Saint Benedict (CSB)を訪れました。2007年に姉妹校として協定書を交わしてから、今年度で10回目の訪問となしました。キャンパス内を見学したり、カフェテリアでランチ食べたり、大学の雰囲気を感

COLLEGE OF Saint Benedict
Saint John's UNIVERSITY

CSBは女子大学（学生数1,950名）
SJUは男子大学（学生数1,850名）
約5マイル離れたところにそれぞれのキャンパスを持っていますが、あたかも一つの大学であるように、どちらの大学の授業でも自由に受けて単位を取得することが可能で、諸活動も共通して行うというユニークな制度を持つ大学共同体です。

SJUのキャンパス内にあるSaint John's Preparatory Schoolを訪問。6年生から12年生まで在籍し全校生徒数284名という小さな学校。25%の生徒が留学生で国際色豊かな学校です。
現在、2018年8月から12月まで、本校生徒2年生の佐々木瞳さん(苫小牧光洋中）が、寮生活をしながら高校生と同じカリキュラムで勉強しテストも受け、部活動にも参加しています。テニス部では、地区大会２位の好成績を収めてました。日本語でのサポートはまったくない、オールイングリッシュでの24時間。今回は久しぶりのクラスメートとの再会を喜んでいました。

本学を創立したCSBにある修道会を訪問。シスターたちと一緒に2016年2月に天帰された本校第2代校長シスター・オリビア(享年92歳)のお墓にお参りをし、お祈りを捧げました。シスターから、本校の歴史やカトリックの精神について学びました。

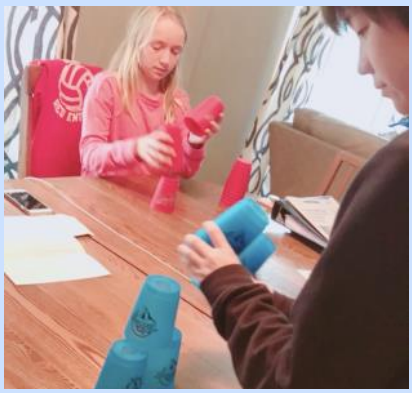
本校第2代校長シスター･オリビア(享年92歳)
･昭和36年～39年　4年間英語教師として室蘭在住
･昭和40年～48年　9年間校長として室蘭在住
･昭和45年～49年　5年間理事長･校長兼務として室蘭在住
･昭和52年～54年　2年間英語教師として，再度来蘭･室蘭在住
※室蘭カトリック女子高等学校での通算勤務期間は16年間勤務

（参考）１９６１年（昭和３６年）４月に，室蘭市の要請を受け，羊の放牧場であった現在地の高砂町に，ｶﾄﾘｯｸ精神に基づく全人教育を目指して，女子の教育機関として，米国の聖ベネディクト修道院の支援で，「学校法人聖ベネディクト学園・室蘭カトリック女子高等学校」が開校。（１９６２年・昭和３７年に室蘭カトリック女子中学校も開校）　１９９１年（平成３年）４月に，「聖ベネディクト女子高等学校」に校名変更。

2018 DAY4.5 WEEKEND, OCTOBER 6.7

金曜日の夜は、ミネアポリスをホームとするNBA（プロバスケットボールリーグ）のティンバーウルブズのホームゲームがあり、ホストファミリーと応援に来る生徒がいました。

4日目・5日目の週末は、ホストファミリーとの休日を楽しみました。土曜日の夕方にはスケートパーティーが開催され、各家庭で楽しく過ごしている様子がうかがえました。また、アメリカのライフスタイルを経験する機会になりました。



今年度で10回目のアメリカミネソタ修学旅行。今年度は37人の参加生徒が22件のホストファミリーにお世話になりました。基本的には2人1組でホームステイを行いました。姉妹校BSMにお子さんを通わせているご家庭だけでなく、コーディネータのトム・ヘイグ氏からの推薦によるご家庭にホームステイをさせていただき、充実したアメリカンライフを満喫することができました。多くのホストファミリーが、毎年引き受けて頂いているご家庭で、本校の修学旅行の受け入れを楽しみにしてくださっていました。

2018 DAY6 MONDAY, OCTOBER 8

姉妹校BSM校での授業体験。本校生徒一人につきBSM校の高校生一人がパートナーとなり、一緒に授業を受けました。その後、ミサに参加したり、ランチを食べたりするなどアメリカンスクールライフを楽しみました。落ち着いた校風の中でBSM校の生徒は、慣れない英語で話をする本校の生徒に対して、優しくフレンドリーに接してくれました。一日一緒にいたバディーの生徒は、私たちにとって、初めてのアメリカの友達となりました。

Benilde-St.Margaret's School (BSM) と2009年から交流を開始し、2010年6月に調印式を行い、正式に姉妹校関係が成立。
今年度で交流10周年を迎えました。
高等部(4学年)約1100名・中等部(2学年)約280名。
クラス平均人数21名。進学率98%。
72%がカトリック。

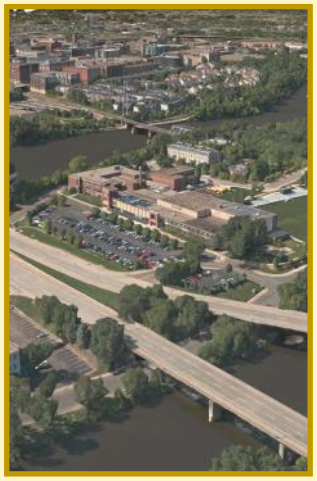
2018 DAY7 TUESDAY, OCTOBER 9

ミネアポリスから初めて副大統領に選出されたモンデール氏への表敬訪問をしました。カーター大統領時代の副大統領で、駐日大使を務めた経歴もあり、毎年本校生徒に貴重なお話をいただいています。生徒代表スピーチは押切はなさん（伊達中）が務めました。また、質疑応答ではユニークな質問に気さくに答えていただきました。

ミネソタ州生まれ。マカレスター大学卒業後、弁護士、ミネソタ州検事総長を経て1964年ジョンソン政権の副大統領に就任したハンフリーの後継者として上院議員に当選。1977年から81年までカーター大統領の下で副大統領を務める。1984年に共和党候補のロベルト・レーガンに対する民主党の指名候補となった。1993年から96年まで駐日大使を務め、2008年大統領選挙民主党候補バラック・オバマの対日政策顧問グループに名誉会長として参加した。こうした日米関係の発展への長年の功績が評価され、日本国から桐花大綬章を授与された。

ダウンタウンにあるモンデール氏のオフィスからライトレール(市電)に乗って、遊園地が一体となったアメリカ最大級のショッピングモール、「モール・オブ・アメリカ」に行きました。約520以上のお店がある全米最大の建物の中で買物を満喫しました。

ミネアポリスに流れるミシシッピー川の中洲にある私立のカトリック校DeLaSalle High Schoolに2018年8月から12月まで留学している松下琉奈さん（伊達中）も修学旅行に合流しました。



9年生から12年生までの4学年で760人。アメリカの中では小規模校であるが、2017年度生徒数が過去最高となっている。90%以上が部活動に参加し、特に男女バスケットボール部が有名。クラスサイズは15人から29人。98%大学進学。1900年創立の伝統校。制服を着用。現在、台湾・中国・ベトナムなどからの留学生を受け入れている。
松下さんは、2018年1月から6月まで本校から留学した寺田くん(伊達中)に続き、二人目の留学となる。

2018 DAY7 TUESDAY, OCTOBER 9

さよならパーティーの前に、BSM校でホストファミリーと最後の食事をとりながら、思い出を語り合いました。

毎年恒例のさよならパーティーでは、石原采音さん（東明中）と横内ビヤンカさん（桜蘭中）の国歌斉唱の後、佐藤龍くん（室蘭西中）と横内さんによる見事な英語による司会で、スムーズな進行を行うことができました。プレゼンテーションチームがパワーポイントを使いながら、海星や室蘭について英語でわかりやすくホストファミリーに説明をしました。スピードスタックスゲームでは、ホストファミリーと協力しながら、興奮と笑顔が絶えない盛り上がりをみせました。修学旅行現地コーディネータのHaeg夫妻やBSM校の校長Sue Skinner氏と入試担当のTed Freese氏にも参加して頂き、矢田侑平くん(八戸第一中）と森田華香さん(達南中)がそれぞれ感謝の手紙を読み上げました。最後に感謝の気持ちを斉藤佑奈さん（桜蘭中）がホストファミリーへの手紙を読み上げた後、須藤瑶絵さん（室蘭西中）の伴奏のもと、全員で「旅立ちの日に」を合唱しました。生徒たちがぽろぽろと頬に涙し、その姿にホストファミリーも言葉の壁を越えて涙を流す姿が、わずかの日数で築き上げたホストファミリーとの信頼関係の尊さを物語っていました。

DAY8 10/10 出国
DAY9 10/11 帰国